

大阪市立 住まい情報センター

# おんじゅ

住まいのガイドブック

volume

2026年冬号

# 105

## 《特集》

### 外国人から見た「和室」の価値

万博関連特別イベント国際シンポジウムより

〈今月の表紙〉

国際シンポジウムにご登壇いただいた皆様。大阪くらしの今昔館9階展示室、薬屋にて記念撮影。

・大阪くらしの今昔館 news

「堂本印象『いの字絵本 恋の都大阪の巻』」

「温故知新—うめの花平棗—」

・大阪市住まいのガイド

借りる・買う・建てる・建て替える  
各種住宅施策のご案内

万博関連特別イベント国際シンポジウム  
外国人から見た「和室」の価値

特集 外国人から見た「和室」の価値

万博関連特別イベント国際シンポジウムより

京都に暮らして34年経ちました。ずいぶん長く暮らしていますが、日本に来て最初に驚かされたのは「和室」でした。学生時代に畳が敷かれた四畳半の部屋に住んでいました。部屋の奥に扉があっ

「和室」との衝撃の出会い  
―押し入れのリテラシー―

て、その中には布団があり……最初の1週間は押し入れで寝ました。日本が狭くてもさすがにこんなベッドルームはないだろうと、とても驚きました。私には、使い方、ルールといった和室のリテラシーがありませんでした。日本の家で暮らすには、非常に多くのリテラシーが必要です。日本人はどう



ウスビ サコ氏

日本の住まいと多様性  
―外国人から見た「和室」の価値―

京都精華大学元学長／同大名誉教授 マリ共和国生まれ。1991年来日、1999年京都大学大学院修了。博士(工学)。専門は空間人類学。京都をフィールドに社会と建築の関係性を様々な角度から調査研究する。京都精華大学教員、学部長を経て2018年4月同大学学長(～2022年3月)。主な著書に『「これからの世界」を生きる君に伝えたいこと』(大和書房)、『アフリカ出身 サコ学長、日本を語る』(朝日新聞出版)など。2025年日本国際博覧会協会副会長・理事・シニアアドバイザー兼任。

基調講演

日本の伝統的な居住空間の一つである「和室」。国内では減少を続ける一方で、海外からの注目は高まりつつあります。住まい情報センターでは、2025大阪・関西万博の関連イベントとして、「和室」をテーマに国際シンポジウムを開催しました。博覧会協会副会長を務めたウスビ・サコ氏をはじめ、海外にルーツを持つ研究者と、日本人研究者を招いて、多様な切り口で外国人の目から見た「和室」を語り、共にその価値を探りました。本特集では、その一部をお届けします。



やってそれを知るのが質問してみたいくらいです。おそらく、日本に来た多くの外国人がトイレのスリッパを部屋まで履いてきてしまう経験をしているはずです。

ちゃぶ台を出せばダイニングになり、布団を敷けばベッドルームになる。ミニマルな空間だけど、多機能化しているのが和室の特徴です。実は、私が生まれたマリの住まいにある中庭も団欒したり、調理したり、多様な使い方をします。それぞれの道具を置くことで、空間の機能が変化するのです。

### ミニマルでフレキシブル、 知識が集約された空間

壁が少なくて風通しがよく、襖の開け閉めで空間を広げたり区切ったりできる。和室は非常にフレキシブルな空間でもあります。以前、あるお寺で、アフリカの布を使った着物の展示をしました。多くのヨーロッパの建築は機能が固定化されており、和室のような柔軟性はありません。和の空間だからこ

そ、良い展示ができました。

さらに、和室には、ミニマルな空間の中にホストとゲストの関係、物と人との関係など多くの知識が高度に集約されています。日本の文化や日本人の心を象徴、表象しているのではないのでしょうか。茶室に生けられた花や、飾られた掛け軸の意味、靴の脱ぎ方やスリッパのルール、招かれた家のどこまで入っていいのか。人々は、それぞれの知見で空間を理解しているのです。

### 京町家とコミュニティ

私が和室や日本の空間に興味を持ち始めたきっかけは、京都の町家でした。京町家は一つの家だけでなく、隣接する通りも空間として認識し、道を挟んだ両側町というコミュニティを形成しています。同じ生業を持ち、生活共同体として暮らしてきた歴史があります。建築と人間の関わりを研究する空間人類学に携わる私は、和室を理解する上で、文化的なアイデンティティを理解する観点から建築を眺めることが

重要ではないかと考えています。

和室への憧れから、仲間と共に古い長屋の再生に取り組んだこともありま。大工さんの指導を受けながら改修しましたが、ただ直すだけではだめだと気が付きました。私たちの活動する時間帯や生活音などが周辺住民は異なるため、関係性づくりが必要でした。長屋と隣接する空間、近隣との関係性の中で、和の空間が成立することがわかりました。

京都に暮らして30年以上になります。が、まだまだ町家や和室、京都の空間は謎だらけで、興味が尽きません。

### 多様であることを認識し 「楽しむ」

「外国人から見た」というテーマですが、世界はグローバル化しており、人物・情報が国境を越えて自由に行き来し、共有されている時代です。行き来した人物・情報の価値は一つの国の判断で決めることができません。

そこで最も重要となるのが、多様性です。人種・性別・宗教・性的嗜好、社会的・経済的背景および、民族性はそれぞれ異なります。日本では差を否定的に捉えて埋めようとする傾向があります。しかし、多様性を認めるためには違

いを認識し、その差を楽しむことが重要です。お互いに違うことを楽しめるものが、日本に来る外国人の求めるものではないかと思えます。

日本に来て、和室がフレキシブルであることにとても驚きました。現代においては和室が不便だと言う人もいますが、多少の不便も楽しいのではないかと私は思っています。多様性を受け入れられる和室の柔軟性を、今後どのように活用するのか。海外にルーツがある立場として、便利か不便かではなく、心理的な落ち着きがある大切な空間として、和室を長く残して欲しいと思っています。



和室がある滞在先を紹介してほしいと、知人に頼まれることもあるという。



あんじゅはウェブサイトでもご覧頂けます。

## 私の和室体験 ルフェーブル・エリック氏

25歳の時に日本へ来て、20年ほど経ちましたが、「なぜ日本に？」と質問され続けています。そこで私は、二つの答えを用意しています。

一つ目は、日本で学ばなければ、一人前の建築家にならないと思っていたことです。私が学生だった2000年代、日本の現代建築は世界を代表する存在でした。

二つ目は、映画で見た和の空間に興味を持ったからです。7歳の頃には、黒澤明の時代劇に登場する和室空間こそが日本の理想的な伝統建築だと信じていました。大学生になってから読んだ『陰翳礼讃』(谷崎潤一郎)の世界観は、その空間と直接的に繋がりました。10代半ばには、小津安二郎が描いた現代的な室内空間や店、町などから日本社会を理解しようとしていました。

そして、日本へ留学し、最初の住まいには、畳の部屋を選びました。新しい畳の匂いは、映画から知り得なかったことなので印象に残っています。

日本で暮らす中でも、重要な出会いがありました。一つは、古い建築雑誌で20世紀初期の日本の現代建築を目にしたことです。そこには、丹下健三や

村野藤吾の作品が紹介されていました。早くから西洋化が始まっていたことを知り、日本の建築空間について認識を新たにしました。

もう一つは、個人的な出来事です。妻の家が茶道の先生だったことです。家族になった私も、千利休作の茶室「待庵」をはじめ、たくさんの茶室や伝統的な和室空間を訪れる機会に恵まれました。

また、偶然訪れた、大山崎(京都)にある藤井厚二の「聴竹居」も印象に残っています。その後、縁があり藤井の作品である家を購入して、京都から奈良へ移築し、そこに住んでいます。フランスから日本へ来た私が、和と洋の融合に取り組んだ建築家の家で住まうという面白い生活をしています。



ルフェーブル氏が移築・修繕した汐見邸(藤井厚二設計、1933年)の一室。

## 台湾の和室と日式住宅を通じて 郭雅雯氏

日本統治時代(1895〜1945年)に台湾で暮らす日本人のために建てられた、日式住宅の研究に取り組んできました。きっかけは、子供の頃に見たお化け屋敷のような家屋です。

私が子供時代を過ごした家は、台湾の伝統的な住居でした。「三合院」「四合院」といわれ、中庭を囲むように建物を配して、土足、椅子座の生活です。寝る時にだけ寝台が上がります。数世代、数世帯が一緒に生活をしていました。

小学生の頃に、台湾で放映された日本のアニメで、主人公たちの家がある時見たお化け屋敷のような家屋と同じだと気づきました。床に座って食事をしたり、家に入るとすぐに靴を脱いだり、私の家とは全く違っていました。そうして日本の住宅に興味を持ち、大学では台湾に残る日式住宅を研究テーマにしました。

日式住宅の特徴は、高温多湿の気候への対策と、和洋折衷であることです。風通しを考えて床を高くしたり、出窓が多く設置されたり、基礎や軒下、出窓の下部に開口部が設けられたりしています。基本は和室の生活ですが、応接間や書斎は椅子座でした。

戦後は、日本人に替わり台湾人が日



茶房として再利用されている日式住宅。違い棚が取り外されている。

式住宅を使ってきました。多くは撤去され、現在残っている数は少ないですが、中には築100年を超える住宅もあります。最近では住居以外にも、茶房にリノベーションして活用される事例などがあります。マンションが立ち並ぶ中に、低層の日式住宅が残っており、100年前に植えた木もあって茶房にぴったりの場所です。

畳の上でくつろげることや、庭と自然が一体になって過ごせることなど、日式住宅の特徴や価値を理解して、あえて和風の様式を残す事例もありません。畳の部屋や靴を脱ぐ習慣はもともとなく、台湾人にとっては必ずしも使いやすいとは言えません。それでも、100年後の今に日式住宅や和室が継承されているのは、いい物を作っていたからだと考えています。

寝床の植民地、台湾漢人の起居様式をめぐる民族誌

青井 哲人氏

日本が植民地支配をしていた時代に、台湾の一般的な漢人の住宅に「和室的なもの」が数多く造られました。「總舗」と呼ばれる寝床がそれで、20年ほど前、台中の田園地帯にある妻の実家で初めて出会いました。私はこの発見に驚き、植民地支配が台湾の人々の生活にどんな変化をもたらしたのかに興味を持ち、研究を続けています。これまでに500件近い總舗を見ました。

總舗は、「和室」ではありません。總舗は「寝床」であり、部屋いっぱいの幅に造られた揚床が壁に固定され、建物の一部のようになっているものです。伝統的な住宅である三合院や四合院の寝



青井氏が台湾の義母宅で初めて出会った總舗。和の印象は強くない。

室に總舗が造られ、畳や障子、欄間など「和室的」な要素を取り入れたものもあります。

いろいろな造り方があり、和室的要素が一切含まれないものも總舗と呼ばれます。伝統的なベッドの脚部を持ちながら、部屋いっぱいの揚床の寝床を造った事例もあり、ベッドが拡張されたものであると考えています。

調査のなかで、總舗は、日本統治時代に漢人が暮らしたエリアに造られたことがわかってきました。統治時代の半ば、1920年代に始まり、1930〜40(昭和10〜20)年代に増え、戦後も60年代まで盛んに造られました。

總舗が発展・普及した要因と考えられるのが、家族あたりの人口増加です。この時期、医療・衛生環境が良くなり、伝染病による子供の死亡事例が減少しました。漢人は息子たちの夫婦や子が、親と共に暮らす、共同体家族形態です。世帯人数が増加したことで、寝床の確保に苦慮した結果、多くの人が雑魚寝できる和室的な寝床が必要となったと考えています。畳や障子を取り入れたのは、日本の意匠が良いと思っただ中流層以上の人たちでした。

戦後には部屋全体が揚床になったり、高さが低くなったりと、変化しながらも總舗は現在まで残されています。

パネリストのプロフィール

話題提供



ルフェーブル・エリック氏

フランス政府認定建築士(DPLG)。フランス出身。パリ・ラ・ヴィレット国立建築大学卒業、文部科学省奨学生として来日。解体予定だった藤井厚二氏の作品「汐見邸」を引き取り、個人住宅へ再生した。現在、大阪産業大学デザイン工学部で非常勤講師。京都大学大学院博士課程で研究を進める。昨年よりRIMOND社で2025年大阪・関西万博フランス館の施工を担当。



郭 雅雯氏

安田女子大学理工学部准教授。台湾出身。京都大学大学院修了。博士(工学)。日本学術振興会特別研究員、朝陽科技大学助教授、中原大学助教授、京都光華女子大学講師を経て、現職。専門分野は、住生活学、住宅計画、住居学、日本植民地建築、歴史的な建築の保存と再生、地域の保全にも取り組む。都市住宅学会博士論文最優秀論文賞、住総研研究選奨、日本建築学会奨励賞を受賞。



青井 哲人氏

博士(工学)、明治大学理工学部専任教授。愛知県生まれ。専門は建築史・建築論。ポストコロニアル建築史研究、災害史研究、家族史研究、建築批評など幅広く展開。単著に『ヨコとタテの建築論』(慶應義塾大学出版会)、『彰化一九〇六年』(acetate)ほか。共著に『戦後空間史』(筑摩選書)、『津波のあいだ、生きられた村』(鹿島出版会)ほか。ジャジャハウス管理人。



内田 青蔵氏

神奈川大学特任教授、現代・和室の会会長。秋田県生まれ。工学博士。専門は近代日本建築史・近代日本住宅史。日本建築学会賞(論文)、日本生活学会今和次郎賞、日本生活文化史学会賞を受賞。著書に『日本の近代住宅』(鹿島出版株式会社)『間取りで楽しむ住宅読本』(光文社新書)など多数、和室の会の共著として『和室学』(平凡社)、『和室礼讃』(晶文社)など。



山形 政昭氏

大阪芸術大学名誉教授、関西学院大学フェロー。工学博士。大阪府生まれ。京都工芸繊維大学大学院修了。専門分野は建築歴史・建築計画学。日本の近代建築及び和洋の住宅建築に関心があ、大阪の歴史的住宅調査など、とりわけヴォーリスの建築に関して研究を行い、著書には『ウィリアム・ムレル・ヴォーリスの建築』などがある。社会活動では各地の歴史的建築の調査、保護に関わる。



建築シミュレーションゲームの作品シェア機能からみた外国人の和室観に関する研究

近畿大学建築学部都市住宅研究室  
つかもと いおり  
塚本 伊織氏

2025年9月、大阪くらしの今昔館において海外からの来館者へのヒアリング調査が実施された。調査を行ったのは、近畿大学の塚本伊織さん。和室の減少に問題意識があり、「日本で和室という住文化を残したい」と外国人から見た和室をテーマに掲げ、卒業研究に取り組んでいる。

今昔館の調査では「国籍、年齢、来館目的、日本についての興味、何を見たら和室と感じるか」について聞いた。来館目的では「歴史や文化を学ぶため」が最も多く、「古い街を見る、着物体験、大阪を学ぶため」といった今昔館ならではの理由もあった。

和室と感じるものに関しては半数以上が「畳」と回答。「木、竹、紙の扉」といった素材や要素の他、「床座、靴を脱ぐ」といった行為や、「小さい空間、ミニマリスト」といった和室のイメージも回答に上がったという。

「和室を継承していくためには、現代を生きる様々な文化的背景を持つ人による和室文化の再構築が手掛かりになる」と考える塚本さんは、建築シミュレーションゲームに注目している。プレイヤーが仮想空間に建築を自由に創造でき、日本の家を作るためのパーツも販売されている。塚本さんは「室内に日本庭園を配したり、床の間を外壁に設置するなど世界中のプレイヤーが作った新しい和室」から和室文化継承のヒントを探っている。

## 日本近代住宅における和室の展開—洋風化の中の和室

内田 青蔵氏  
うちだ せいぞう

幕末期に日本を訪れ、伝統的な住宅で生活をしたフランス人C・モンブランは見聞記に、和室はヨーロッパ人にとって驚くべき簡潔なものであると記しています。畳敷の部屋に入るには靴を脱ぐため、とても清潔な住まいであるとも書きました。アメリカ人E・S・モースは、日本人は生まれてから死ぬまで食事も就寝もすべて畳の上だとし、住宅の特徴は「畳」にあると紹介しています。

畳に加え壁の造りにも特徴があります。日本の伝統的な建物は柱や梁、建築を構成する部材を見せる「真壁」で構成されています。一方、西洋建築のように厚い壁の中に柱などが隠れているのが「大壁」です。日本の住宅の近代化は、



吉田五十八が手がけた杵屋別邸の居間。  
床の間の柱や障子の縦棧が省略されている。

真壁と大壁を併せ持つ様式への変化といえます。

こうした変化を展開した建築家が、建築家の吉田五十八で、「真壁大壁方式」を生み出しました。大壁造の中に、真壁造の中から必要な部材だけを配したシンプルに見せるデザインを展開しました。これからの時代はモダンで新しい美意識による建築を志向すべきと考えたのです。

明治の頃には和の建築の隣に洋館を建てる形式が生まれ、大正期に入ると生活の中心は和室にありながら、応接間や書斎として洋室があるスタイルも見られます。畳敷の上に背の低い椅子を置いて床座と共存させるなど、洋風の影響をうけつつも日本の伝統を大切にしている文化もありました。和と洋の混在する建築をどう造るかが、建築家にとって大きなテーマの一つとなっていたのです。そのひとつの到達点がこの真壁大壁方式だったのです。

現在の問題としては、日本の伝統的な住まいのありようがうまく継承されておらず、和室が消えつつあるということです。私はもう一度、和室や付随する文化を学び直し、見直そうと「現代・和室の会」を立ち上げました。新しい時代に即した和室を造り、楽しんでいくと考えています。

## 近代和風建築の多様性と見所 —様式(スタイル)と表現より

山形 政昭氏  
やまがた まさあき

伝統的な和風建築にはどのような特徴があり、どう変容してきたのか。また、近代における和風建築の新たな展開についてお話しします。

まずは「町家・商家」といった住まいとしての伝統建築は、畳敷きの座敷があり、そこに中庭の緑や光、風などが合わさった総合的な空間です。今昔館8階「北船場」模型にある小西家住宅がそれで、ガラス障子を取り入れるなど、非常に美しく整備されています。

「書院造り」は床間や棚、書院窓がある伝統的な様式の一つです。さまざまな広さの座敷と組み合わせる接客の場としてアレンジされてきました。別荘として建てられた琴ノ浦温山荘園の本館には広大な書院式の座敷があります。

そして、「数寄屋・茶室」は茶の湯の文化で、より密接に客をもてなす場として、住宅の一部にも取り入れられてきました。その空間は、線と面の構成を洗練させながら単純化する表現へと発展し、和モダンの源流となっているのではないかと考えます。

次に、近代において見られる和風建築の創作的な試みについて。藤田徳次郎



和室の扉を開けると洋間のサンルームにつながる。  
ヴォーリスが手がけた駒井家住宅の一室。

の洋間紹陽という部屋はいわゆる洋間ですが、天井や床の間、床などは和の構成を踏まえた造りになっています。和の伝統を発展させる形で、和洋織り交ぜた造りに挑戦する事例が他にもあり、和のたくましさが見てとれます。

私が研究するウィリアム・メレル・ヴォーリスの建築でも、和と洋の組み合わせが見られます。日本の伝統的な建築の継承において、洋風との融合による持続的展開には今後可能性があると考えます。文化財として登録するだけでなく、生活の中で生かしながら活用する方法が検討されるべきでしょう。和室は、単なる建築の一種にとどまらず、近代には多様な和風が登場してきました。日本の文化的な営みと接点をもちながら現代に伝わっていくのではないのでしょうか。

基調講演、パネルディスカッションを通して、外国人の視点や、近代の伝統建築研究の観点から和室の特徴や課題が語られた。締めくくりに、改めて和室の本質的な価値や今後の展開について全員で意見を交わした。

### 和室とは？を考え続ける

日本人建築家の住居を移築し、自宅として生活するルフェーブル・エリック氏は「私の家族は和室で全員が川の字になって寝ています。寝るだけでなく和室で様々なことを行う結果、そこに生活の時間が蓄積されていくと感じていきます。和室を必要とされない時代ですが、用を保つ方法を考えていかなければと思っています」と和室を使うことの重要性に言及した。

郭雅雯氏は、現在の台湾で日式住宅が住まいとして選ばれる理由について「都会の中で庭付きの一軒家に住み、緑に囲まれるという贅沢な空間は他にない」という声が多く聞かれたと紹介。それは、縁側から望む庭の景色や開放感、木材を中心とした自然のものに囲まれる安心感などが理由であると語った。また「今日の話聞き、保存・改修方法は日本でも様々であることがわかった。今後の課題はどこまで保存すれば

和室と呼べるのかを検討することだ」と述べた。

和室の多面性について、青井哲人氏は「總舗は基本的に寝床だが、子供が遊んだり、麻雀をする場にもなる。多様な使い方ができるのは和室に限ったことではないが、それが和室の本質でもある。また、多くのリテラシーが厳しく要求される点も和室の本質と言える。正統的ではない和室的なものが広がっている状況も含め、和室の再解釈は起り続けるだろう」と語った。

### 和室を未来へ引き継ぐために

ウスビ・サコ氏は、「全員が一致したのは和室の重要性だが、造り続けなければ、技術も文化も継承できない。どういった組織、手段、制度で日本の住宅に和室を残していくのか、どのような付加価値を付けて後世に残すのかがもっと議論されるべき」と語った。

和室の魅力を再確認し、残すための議論への参加を呼びかけた内田青藏氏は、和室の未来について、「伝統的なものも含めて、先人がどのように和室を造ってきたのか理解し、原理原則を踏まえた上で今後も新たな和室を造っていくことが重要だ。そして、和室を生活の中に取り戻していきたい」と述べた。

山形政昭氏は「和室が持つ多面的な魅力は、良い建築や文化財の見学を通して知ることができる。しかし、見学対象としてだけ残るのは大変もったいない。建物だけでなく、和の世界のしきたりや衣食住の豊かさなど様々な文化を、精神性も含めて体感できる場が必要だろう」と述べ、互いに和室を継承するための意識を高めていきたいと呼びかけた。

最後にコーディネーターを務めた今昔館の増井館長は、「様々な使い方、楽しみ方、暮らし方があるなかで、和室の多面的な価値が生まれてくることわかった。このことを語りつづけていくことに加え、和室を引き継いでいくための具体的な議論を進める必要がある。今昔館は博物館として資料収集や展示室の活用を通じて和室文化の継承に役立っていききたい」と締め括った。

## 国際シンポジウム開催概要

万博関連特別イベント国際シンポジウム  
外国人から見た「和室」の価値

令和7年9月27日(土) 13:00~16:00開催

### 【基調講演】

「日本の住まいと多様性 —外国人から見た『和室』の価値—  
ウスビ・サコ氏

### 【話題提供】

塚本伊織氏 (近畿大学建築学部都市住宅研究室)

### 【パネルディスカッション】

青井 哲人氏 (明治大学理工学部専任教授)  
内田 青藏氏 (神奈川大学特任教授、現代・和室の会会長)  
郭 雅雯氏 (安田女子大学理工学部建築学科准教授)  
山形 政昭氏 (大阪芸術大学名誉教授、関西学院大学フェロー)  
ルフェーブル・エリック氏 (フランス政府認定建築士[DPLG])  
コーディネーター: 増井 正哉 (大阪くらしの今昔館館長)  
コメンテーター: ウスビ・サコ氏

※詳細はこちらをご覧ください



## 住まいをかう・建てる・建て替える・解体する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する新婚世帯・子育て世帯を対象に、住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805●FAX:6356-0808
大阪市子育て安心マンション認定制度	‘子育てに配慮した仕様’と‘子育てを支援する環境’を備えた良質なマンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性や耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。
民間老朽住宅建替支援事業	集合住宅への建替建設費補助	重点対策地区において、昭和56年5月31日以前建築の建物を集合住宅(マンション・アパートなど)に建替える場合、建替費用の一部を補助します。
	隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助	対策地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売買で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。
	狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助	対策地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点対策地区においては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。
防災空地活用型除却費補助制度	重点対策地区において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。

## 住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者等に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事・耐震除却工事に要する費用の一部を補助します。また、木造住宅の所有者等に対して耐震事業者の情報を提供しています。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053●FAX:6882-0877
大阪市空家利活用改修補助事業	空家の利活用に向けた安全で良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修工事や地域まちづくりに資する用途への改修工事等に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口 (住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053●FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者や管理組合などに対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9226●FAX:6202-7064
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228●FAX:6202-7064
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228●FAX:6202-7064
大阪市住宅省エネ改修促進事業	既存住宅における省エネ性能を向上するため、一定の要件を満たす窓の断熱改修等(内窓設置・外窓交換等)とそれらに併せて実施する躯体等(天井、屋根、壁又は床)の断熱改修、設備等の省エネ改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228●FAX:6202-7064
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取り組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談ください(無料)。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631●FAX:6202-7064
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	各区保健福祉センター 保健福祉課

## 分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンション勉強会支援アドバイザー派遣制度	分譲マンションの管理組合等が実施する勉強会を支援するため、講師として一級建築士や弁護士等の専門家を無料で派遣し、一般的なアドバイスをを行います。	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
分譲マンション管理適正化支援アドバイザー派遣制度	築30年以上で管理に課題を抱える分譲マンションの管理の適正化を支援するため、マンション管理士等の専門家を無料で派遣し、解決に向けたアドバイスをを行います。	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1件あたり30万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修や建替等)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1回あたり60万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
分譲マンション管理計画認定制度	管理運営状況や長期修繕計画など、マンションの管理計画が一定の基準を満たす場合、「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」に基づく認定が受けられます。	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9637●FAX:6202-7064
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築・法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局 (住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232●FAX:6354-8601

信りる・買う・建てる・建て替える

# 大阪市住まいのガイド

紹介している大阪市の公的賃貸住宅や各種制度について、より詳しくお聞きになりたい方は各窓口にお気軽にお問合せください。



「おおさか・あんじゅ・ネット」からもそれぞれの制度をご覧ください。

## 制度のご案内

### 大阪市子育て安心マンション認定制度及び 大阪市防災力強化マンション認定制度

- **メリット1** ホームページで認定マンションの情報を広く発信します
- **メリット2** 販売広告等で認定マークを利用できます
- **メリット3** 認定後、「認定プレート」または「認定盾」が交付されます

#### 大阪市子育て安心マンション認定制度

子育てに配慮した仕様と子育てを支援する環境を備えた良質なマンションを認定する制度です。



- **対象** 分譲・賃貸・新築・既存を問わない
- **タイプ** 総合型：5つの視点(安全・快適・便利・楽しい・いろいろ)に沿ったマンション  
安全型：安心して子育てができる住宅性能(安全)に重点を置いたマンション



詳しくはホームページをご確認ください。

#### 大阪市防災力強化マンション認定制度

耐震性など建物の安全性や防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定する制度です。



- **対象** 分譲・賃貸・新築・既存を問わない
  - **タイプ** 新築型・既存型
- ※既存型はハード面の基準の選択肢を増やし、ソフト面の基準を強化(防災訓練と地域連携の両方を満たすなど)しています。



詳しくはホームページをご確認ください。

問合せ：都市整備局企画部安心居住課【電話】6208-9648【FAX】6202-7064

## 住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

- **市営住宅** ・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。  
・収入基準は、一般世帯で158,000円以下、高齢者・障がい者世帯等で259,000円以下(月額所得額)となります。

募集種別(募集時期)	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】 (例年7月上旬、11月上旬、2月上旬)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯、若者夫婦・子育て世帯、単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、市内在勤の方も申込みができます。	市営住宅募集センター募集担当* ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051
福祉目的募集【抽選】 (例年5月上旬)	ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方々を対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。	ひとり親住宅/大阪市子ども青少年局 子ども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅/大阪市福祉局 地域包括ケア推進課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅/大阪市福祉局 障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。募集住戸の追加【例年、年3回(4月・8月・12月)】があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。	市営住宅募集センター募集担当* ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051

- **中堅層向け住宅** 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪市内にお住まいの方も申し込みができます。
- **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別	お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理 市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	市営住宅募集センター募集担当* ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7051	大阪府住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
大阪市住まい公社管理 公社一般賃貸住宅・公社すまいりんぐ	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021	都市再生機構(UR都市機構)	UR梅田営業センター●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

\*市営住宅募集センター募集担当とは、大阪市営住宅指定管理者大阪市住宅供給公社市営住宅募集センター募集担当のことです。

## 民間賃貸住宅

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪市内に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。 (セーフティネット住宅情報提供システム)https://safety-net-jutaku.mlit.go.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
居住サポート住宅認定制度	日常生活を営むのに援助を必要とする要配慮者に対し、居住支援法人等による援助を提供する住宅として認定された住宅を以下のサイトで検索できます。 (居住サポート住宅情報提供システム)https://support-jutaku.mlit.go.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪市内に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。 (サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム)https://www.satsuki-jutaku.mlit.go.jp/	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅や、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体、相談の窓口等が、以下のサイトで検索できます。 (あんぜん・あんしん賃貸検索システム)http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府 居住企画課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

# 大阪市立 住まい情報センターのご案内

## ●住まいに関するご相談をお受けしています **無料**

### ■住まいの一般相談 (随時/窓口相談・電話相談)

公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てるときの一般的な注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語、中国語、韓国語・朝鮮語にも対応します。(外国語対応は17時まで)

**相談専用電話 (06)6242-1177**

### ■住まいの専門家相談 (予約制/面接相談) ご予約は30日前からお受けしています。

お申込みに際しては、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。詳しくはお問い合わせください。

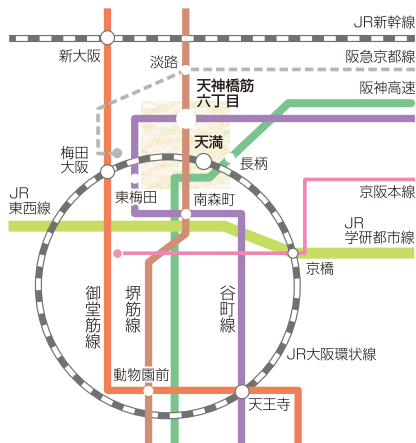
専門家相談日時	内容
<b>住まいの法律</b> おおむね 毎週土曜日 (10時~13時30分)	借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談(弁護士)
<b>住まいの資金計画</b> おおむね 月1回土曜日 (10時30分~12時)	住宅取得やローン返済、高齢期の住まいと暮らしに関する資金計画等(ファイナンシャルプランナー)
<b>建築・リフォーム</b> おおむね 隔週土曜日 (10時~13時)	建築設計や施工上の問題・建築関係法令等(建築士)
<b>分譲マンション(法律)</b> 月1回日曜日 (13時~16時)	管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談(弁護士)
<b>分譲マンション(管理一般)</b> おおむね 毎週木曜日 (14時~18時)	管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談(マンション管理士)

### ■連携機関による定期相談(面接相談)

(公社)大阪府建築士会による建築相談:  
毎週日曜日13時~16時(受付は当日の12時30分~15時30分)  
※12時30分に相談を受ける順番の抽選があります。

近畿税理士会による税務相談(予約制):  
毎週土曜日(但し、2・3月を除く)13時~16時  
(TEL.06-6242-1177で予約受付)

## インフォメーション



### 交通アクセス

- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口直結
- JR大阪環状線「天満」駅から北へ約650m
- お車でお越しの場合は阪神高速道路「守口線」長柄出口 都島通り経由、約500m

### 開館時間

- 4階 住情報プラザ(相談・ライブラリー)  
平日・土曜日/9:00~19:00  
日曜日・祝日/10:00~17:00
- 3階 ホール/5階 研修室・会議室  
平日・土曜日/9:00~21:00  
日曜日・祝日/9:30~17:00

### 休館日

- 火曜日(祝日の場合は翌日)
- 祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)
- 年末年始(12/29~1/3)
- ※上記のほか臨時休館する場合があります。

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 大阪市立住まい情報センター4階  
TEL.06-6242-1160 FAX.06-6354-8601  
おおさか・あんじゅ・ネット <https://www.osaka-angenet.jp/>



4階 住まいのライブラリー



### ●住まいのライブラリーで図書・雑誌などをご利用いただけます

住まいやくらし、大阪に関する図書、建築本や雑誌、機関誌、ミニコミ誌、企業広報誌、絵本などを自由に閲覧していただけます。また、図書の貸し出しも行っていきます(一部を除く) **無料**

### ●ホール・研修室をイベントや展示会・サークル活動・会議・研修会の場としてご利用いただけます **有料**

3階 ホール



定員: 椅子のみの場合/300席(常設194席)  
机利用の場合/150席  
※控え室もあります。

5階 研修室



定員: 机利用の場合/常設54席  
椅子のみの場合/70席  
※研修室は区切って、少人数でもご利用いただけます。

# MESSAGE メッセージボード BOARD

## 第38回大阪市ハウジングデザイン賞の受賞住宅が決定しました！

大阪市では魅力ある良質な共同住宅・長屋・戸建住宅の集合や既存建物を有効活用した改造住宅、維持管理の良好な住宅等を表彰することにより、良質な都市型集合住宅の普及を促進し、市民の皆様や住宅供給に携わる方々の住宅に対する関心を高めていただけるよう大阪市ハウジングデザイン賞を実施しています。

このたび令和7年度の受賞住宅が決定しましたので、「大阪市ハウジングデザイン講演会」内で表彰式を行います。

### 大阪市ハウジングデザイン賞



LIB MARK minamihorie  
(西区南堀江4丁目・改造・賃貸)

### 大阪市ハウジングデザイン賞特別賞



撮影：名執 一雄

しきの音 伶人  
(天王寺区伶人町・新築・コーポラティブ)



撮影：新 良太

リブウッド大阪城  
(都島区片町1丁目・新築・賃貸)



撮影：@CAt

スペースブロック上新庄  
(東淀川区豊新3丁目・維持管理・賃貸)

#### 【お問い合わせ】

都市整備局企画部住宅政策課民間住宅助成グループ  
電話：06-6208-9226 FAX：06-6202-7064

詳細はこちらの  
ホームページを  
ご覧ください。



### 大阪市ハウジングデザイン講演会「借りて暮らす大阪—愛着の持てるリノベーション—」

宮部浩幸氏による基調講演「建築のリレー～賃貸集合住宅編～」、宮部浩幸氏・枇杷健一氏によるトークセッション「愛着を  
持てる賃貸集合住宅を考える」を行います。3月20日(金・祝)開催。講演会のお申込み方法は、本誌P11に記載しています。

以下、広告です。広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。「広告掲載」のお問い合わせは、大阪市立住まい情報センター TEL: 06-6242-1160

公益社団法人 全日本不動産協会大阪府本部 不動産セミナー・個別無料相談会

無料

弁護士が解説

危険がいっぱい！

こんな

不動産取引には要注意！

令和8年3月1日(日) 13:00～(受付12:30～)

■セミナー13:00～▶(セミナー終了後) ■相談会15:00～

◆会場：大阪市立住まい情報センター 3階ホール ◆定員：80名 先着順【要予約】

※開催場所に特別警報や暴風・大雨・洪水等の警報が発表されている場合は中止といたします。

お問い合わせ

公益社団法人 全日本不動産協会大阪府本部  
TEL 06-6947-0341  
〒540-0012 大阪府大阪市谷町1丁目3-26 全日大阪会館

セミナー予約はこちら >>>



主催：公益社団法人 全日本不動産協会大阪府本部

# 大阪市立 住まい情報センター セミナー・イベントガイド 2026年

※やむを得ない状況により、定員の変更やセミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

## 1 住まい情報センター 主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

### ■住まいの基礎知識

#### ◎相続した賃貸不動産どうする？ 負動産にしないために(全2回) 大家の役割第2回「税金」

個別相談のみ当日抽選

- 日時:1月17日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:近畿税理士会税理士
- 定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 個別相談:定員4組(事前申込要)

#### ◎住まいを購入する(全9回)

#### 第9回「住まいのお金編②」税金と確定申告

個別相談のみ当日抽選

- 日時:1月24日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:近畿税理士会税理士
- 定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 個別相談:定員4組(事前申込要)

### ■大阪市ハウジングデザイン講演会

#### 「借りて暮らす大阪 —愛着の持てるリノベーション—」

- 日時:3月20日(金・祝)13:00~16:00
- 場所:3階ホール
- 登壇者:宮部浩幸(博士(工学)、近畿大学建築学部教授、SPEACパートナー)、枇杷健一(株)アートアンドクラフト/大阪R不動産取締役、高田光雄(博士(工学)、京都美術工芸大学副学長、京都大学名誉教授)
- 定員:100名(申込先着順)
- 共催:大阪市

### ■住まいのライブラリーイベント リサイクルブックフェア

- 日時:1月25日(日)13:00~15:00
- 場所:3階ホール
- 定員:100名(申込多数の場合は抽選)
- 申込締切:1月11日(日)必着  
各回、定員25名程度・30分間・事前申込要/完全入替制/一人5冊まで
- ※本が残った場合は、引き続き令和8年1月26日(月)~2月末日まで、4階住まいのライブラリー前で開催します(住情報プラザの開館時間中)。

### ブックトークサロン2025 「大阪の建築～身近な建築の楽しみ方～」

- 日時:2月15日(日)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:倉方俊輔(大阪公立大学大学院工学研究科教授)
- 定員:会場100名オンライン100名(いずれも申込先着順)

### ■大阪くらしの今昔館 企画展イベント

#### トークセッション「古民家を直してつなぐ」

- 日時:2月21日(土)13:30~(開場13:00)
- 場所:3階ホール
- 登壇者:綱本武雄(手しごと舎種代表)、小原響(輝建設株式会社代表取締役)、真田陽子(靉留一級建築士/靉留職人)
- 定員:170名(申込者多数の場合は抽選)
- 申し込み方法:こちらからお申し込みください。



### 靉(よし)葺き屋根の葺きの実演

- 日時:3月14日(土)13:00~15:00(途中休憩のために離席あり)
- 場所:8階ロンドラ(見学には入館料が必要です)
- 実演者:真田陽子氏(靉留(よしとめ))他

## 2 住まい情報センター タイアップイベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門家団体等が共催するセミナー・イベントです

### ■タイアップ+Plusセミナー

#### シニアライフ予備校 専門家がDeepに語る高齢期の住まい

- 日時:1月31日(土)13:00~16:30
- 場所:3階ホール
- 講師:柴本美佐代(日本エルダーライフ協会代表)ほか
- 定員:会場120名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 団体:シニアライフSOS

#### 省エネを意識して暮らし方を見直そう ～脱炭素社会と私たちの暮らし方～

- 日時:3月7日(土)13:30~15:30
- 場所:3階ホール
- 講師:NPO法人もく(木)の会メンバー
- 定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 団体:NPO法人もく(木)の会

## 3 その他 住まい関連イベント

### ■大阪市マンション管理支援機構 マンション管理組合交流会

- 日時:3月22日(日)  
第1部13:00~14:30 第2部15:00~16:30
- 場所:5階研修室
- 定員:各部15名(申込多数の場合は大阪市マンション管理支援機構の登録管理組合を優先して抽選)
- 申込締切:3月8日(日)
- お問合せ先:大阪市マンション管理支援機構事務局 電話(06-4801-8232)

### ■共催事業 知らないきゃ大変!?女性の不動産相続 ～実家どうする?嫁・妻の相続は?～

- 日時:1月18日(日)14:00~16:00
- 場所:3階ホール
- 講師:山口良里子(司法書士法人ともえみ 代表司法書士)
- 定員:会場50名オンライン50名(いずれも申込先着順)
- 申込締切:1月8日(木)
- お問合せ先:クレオ大阪子育て館 電話(06-6354-0106)

### あんじゅ編集通信

土間のある日本家屋で育ちました。子どもの頃は洋間の友人宅が羨ましくもありましたが、今思えば、節句には雛人形や五月人形を、お正月には年末についた鏡餅を飾るなど、日本文化に自然と触れられたのはそこに「和室」があったからかもしれません。この先も、時代に合った形で和室が継承されていくことを願っています。(A)

## 参加申し込み方法

- ウェブサイトからの申し込み  
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。
- はがきまたはFAXで申し込み  
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。  
〒530-8582(住所不要)大阪市立住まい情報センター4F  
FAX:06-6354-8601
- 記入事項:イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など
- 参加費は特記以外無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。
- 申し込みの際の個人情報は、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。
- 午前8時45分時点で、「暴風警報」が発令されている場合は中止とさせていただきますが、セミナー開始3時間前までに解除された場合はセミナーを実施します。
- 手話通訳をご希望の方は開催2週間前までにお問い合わせください。
- オンライン受講を希望される方はウェブサイトからお申し込みください。

### 【注意】

一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、はがきがEメールで当落をお知らせします。

おおさか・あんじゅ・ネット  
▶<https://www.osaka-angenet.jp>



### あんじゅ読者アンケートに ご協力ください!!

みなさんのお声をさらなる  
紙面づくりに活かします。



### ぜひご登録ください。

メルマガにご登録頂きますと、  
住まい情報センター主催の  
イベント情報が登録メールに配信されます。



あんじゅ  
バックナンバーは  
こちらから



企画展

「古民家を直して暮らす」

大阪の代表的な建築やまちの景観を数多く描いてきたイラストレーターの綱本武雄氏が、先祖がおよそ140年前に建てた古民家を修復、再生し、自宅として暮らし始める過程を同氏のイラスト作品により絵本仕立てで紹介。古民家を直す楽しさ、古民家に暮らす豊かさを伝えます。

- ◆会 期：令和8年1月31日(土)～同4月5日(日)
- ◆会 場：大阪市立住まいのミュージアム (愛称 大阪くらしの今昔館) 8階企画展示室
- ◆開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで)
- ◆観覧料：企画展のみ：500円



茅屋根葺き替え作業風景

常設展

■商家の賑わい

令和7年9月14日(日)～令和8年4月上旬まで

■季節のしつらい

□正月飾り

令和7年12月24日(水)～令和8年1月12日(月・祝)

□節分飾り

1月25日(日)～2月2日(月)

□雛飾り

2月25日(水)～3月30日(月)

イベント

■今昔館に初もうで

1月4日(日)～8日(木)※6日(火)を除く  
双六、かるた、百人一首など、大人も子どもも楽しめるお正月遊びや催しがいっぱいです。

・おみくじ 4日(日)、5日(月) 10:00～16:00

・あてもの 4日(日) 10:00～16:00  
当日先着200名(小学生以下対象)

・絵馬の販売 4日(日) 10:00～16:00

1枚200円/なくなり次第終了

・書初め 4日(日) 13:00～15:30

※最終受付15:00/材料費100円

■一上方の華と粹一座数舞

1月25日(日) 14:00～15:00

・山村流の立方が華やかな舞を披露します。

・出演：山村若女、他

■和楽器のしらべ

2月15日(日) 14:00～15:00

・三味線などの伝統的な楽器の旋律をお楽しみください。

・菊聖公一、他

■今昔館のひなまつり

2月28日(土) 13:30～

・ひな祭りに関するお話の聞いたり、昔の遊び「貝合わせ」を体験します。



ワークショップ

■ミニわらじ作り

1月10日(土) 13:30～15:00

・材料費：200円・当日先着20名



■絵馬に色を塗ってみよう

1月11日(日) 13:30～15:00

・材料費：200円・当日先着16名

■木のおもちゃ作りに挑戦しよう

1月12日(月・祝) 13:00～15:00

※最終受付14:20

・材料費：500円・当日先着15名



■鶴のつなぎ折り

1月18日(日)、3月15日(日) 13:30～15:00

・材料費：100円・当日先着16名

■節分飾りを作ろう

1月24日(土) 13:30～15:00

・材料費：300円・当日先着20名



■お雛様を折ろう

2月8日(日) 13:30～15:00

・材料費：200円・当日先着16名



■版木で多色版画を刷ろう

2月14日(土) 13:30～15:00

・材料費：200円

■折り紙を折ろう

2月21日(土) 13:30～15:00

・材料費：100円・当日先着16名

■ミニ雛人形を作ろう

2月28日(土) 13:30～15:00

・材料費：300円・当日先着20名



■万華鏡作り

3月8日(日) 13:30～15:00

・材料費：200円・当日先着16名



■ミニ大工体験と木の継ぎ方クイズ

3月28日(土) 13:30～15:00

■おじゃま作り

2月1日(日)、3月1日(日) 13:00～15:00

・材料費：200円・当日先着15名

■簡単折紙

毎月 第4水曜日 14:00～15:30

・材料費：100円

見て聞いて楽しむ

■上方ことば塾

毎月 第2日曜日 14:30～15:00

■今昔語り

毎月 第3日曜日 14:30～15:00

■紙芝居

毎月 第1土曜日 14:30～15:00

毎月 第3日曜日 11:00～12:00

■絵本の時間

毎月 第4日曜日 14:30～15:00

■芝居語り

毎月 第4日曜日

①13:00～②14:00～

③15:00～



大坂について学ぶ

■町家ツアー

平日・土曜日 10:20～

日曜日・祝日 13:10～

※10月～3月の水曜・木曜・金曜は状況により実施しない場合がございます。ご了承ください。

■町の解説

毎月 第1・3日曜日

13:00～15:00



※入場料(常設展)が必要です。

※費用の記述がないものは参加無料です。

※材料費は、当日お支払いください。

※日程等、予告なく変更になる場合がありますので予めご了承ください。

※定員があるワークショップは8階受付で12時から参加券を発行します。

※ワークショップは定員に達し次第終了します。

大阪市立住まいのミュージアム  大阪くらしの今昔館



【9階なにわ町家の歳時記】

江戸時代の大阪の町並みを実物大で再現。大通りには、風呂屋や本屋、薬屋などが並び、ひととき高い火の見櫓も。路地を抜けると裏長屋の庶民の生活をかきまみれることもできます。



【8階モダン大阪パノラマ遊覧】

近代大阪の代表的な住まいと暮らしをジオラマや資料で再現。

開館時間

10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日

火曜日(祝日は開館) 年末年始 その他臨時休館あり

1/1～3. 6. 13. 20. 27

1月～3月の休館日

2/ 3. 10. 17. 24

3/ 3. 10. 17. 24. 31

入場料

一般 600円/団体500円(20名以上)

高・大学生 300円/団体200円(20名以上)(要学生証原本提示)

※中学生以下、障がい者手帳・マイロID提示者(介護者1名含む)、

市内在住の65才以上無料(要証明書原本提示)

※企画展示の観覧料は別途必要です。

交通機関

●Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電車『天神橋筋六丁目』駅下車

3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ

●JR大阪環状線『天満』駅から北へ約650m

〒530-0041

大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センタービル8階)

TEL:06-6242-1170 FAX:06-6354-8601





## 堂本印象

# 『いの字絵本 恋の都大阪の巻』

京都府立堂本印象美術館 主任学芸員・堂本印象と大阪研究会  
松尾 敦子

【図2】《化粧せし女》



【図1】堂本印象『いの字絵本 恋の都大阪の巻』  
大正元年、京都府立堂本印象美術館蔵

コマ絵をご存じでしょうか。明治の半ばから新聞や雑誌などに掲載されるようになった本文とは直接関係のない絵を指します。明治三十八年、竹久夢二が投稿雑誌にコマ絵を投稿して活躍したことが契機となり、懸賞付きのコマ絵投稿が画学生の間で流行をみせ、東京美術学校西洋画科の山田実、そして京都市立美術工芸学校(美工)図案科に在学していた堂本三之助(後の日本画家・堂本印象)らが、その常連として上位入賞を競い合いました。

京都出身の堂本印象(二八九一—一九七五)は、明治四十三年、美工を卒業すると、大阪で図案家として働きながら、画家活動を行うようになります。大正元年十月二十日発行の『いの字絵本 恋の都大阪の巻』(以下『いの字絵本』)【図1

〜11』は、二十歳の印象が手掛けた画集で、得意のコマ絵による五十余りの大阪の女性図とともに、自作の詩や短歌を収録しています。

なお『いの字』とは、大阪時代に使用していた雅号で、すでに使っていた印象「の頭文字」の「い」の一字をとって「いの字」としたようです。

『いの字絵本』出版にも竹久夢二の影響があります。夢二が明治四十二年に出版したコマ絵の画集『夢二画集 春の巻』は、若い世代に人気を博し、翌年、シリーズ化されました。このコマ絵画集の流行に乗って、美工先輩で洋画家の渡辺与平の『ヨヘイ画集』(四十三年)や、大阪の宇崎純一の『スミカズ画集 妹の巻』(四十四年)などが相次いで出版されたのです。

『いの字絵本』を詳しく見ていきましょう。

「心中の都、美しい心中の都…」で始まる、大阪で心中した姉の記憶を持ち、自身も大阪の人となった京女の回想の形で絵本は幕を開けます。

その後、芝居に熱をあげる若い女性【図3】たちが登場します。彼女たちのお目当ては人気役者でしょうか。

《人形の家の愛読者》【図4】とは、女



【図6】《女店員》



【図5】《中座の客》



【図4】《人形の家の愛読者》



【図3】《芝居茶屋まで》

性の自立をテーマにした戯曲本『人形の家』のことで、当時の日本女性に大きな影響を与えました。それを伏線とするならば『中座の客』【図5】は、芝居小屋の道頓堀中座で上演された「人形の家」(明治四十五年三月)の観客かもしれません。二人とも知的な雰囲気は漂わせており、恋する若い女性との対比が巧みに描き分けられています。

大都市、大阪の呉服店(百貨店)で働く女性店員【図6】は、女性の自立の象徴です。一方で、大丸呉服店で買い物をする上流夫人【図7】も描いています。

夕陽丘、清水谷、梅花などの女学校を題材にした女性【図8~10】について、『いの字絵本』を高く評価する大阪の書誌学者・肥田晴三氏が「大阪の代表的な女学校の名前で、当時はその名を耳にするだけでも、大阪の人間には特別のヒビキで訴えかけてくる新鮮な魅力があった」(『大阪の名著発掘』(なにわ町人学者伝)所収、潮出版社、一九八三年)と語っています。

終盤は、芸事に打ち込む女性たち。当時のアイドル的存在の娘義太夫【図11】は、そのもとなったスケッチがあります【図12】。

このように、大阪の女性たちが個性豊かに澆刺と描写され、見るものを飽きさせません。

最後は、「心中天網島」の小春と治兵衛の心中事件を噂する当世風の三人の女性たちの会話文で幕を閉じるように、『いの字絵本』は単なる大阪の女性図を羅列したコマ絵画集ではなく、「心中」「恋」をキーワードに物語的な意図を持つて構成されています。近松門左衛門の心中物の恋愛模様を、まさに明治末〜大正初期の感覚に引き寄せつつ、しかも若者らしい視点で大阪の流行を的確に描写しているところに『いの字絵本』の魅力があるといえるでしょう。

この頃の印象は、学生気分が抜けず、時流に乗った画家活動を模索していましたが、『いの字絵本』出版を境に、画家として生きることを決意し、図案家の仕事の傍ら、本格的に画家修業に励みます。当時の印象を知る日本画家の友人は、印象の苦勞は他の画家とは到底比較にならないとし、印象こそ「立志中の人」と評価しています。

大正七年、二十六歳の印象は日本画家養成学校である京都市立絵画専門学校に入学し、翌年より帝展作家となり、日本画家として歩みはじめるのです。堂本印象という、仏画や戦後の抽

象画などのイメージを持たれる方が多いと思いますが、『いの字絵本』は、印象の画家としての原点となる重要な作例なのです。



【図10】《梅花のひと》




【図9】《清水谷を出でて三とせのはる》



【図8】《夕陽丘スタイル》



【図7】《大丸で見たひと》

シンポジウム「堂本印象『いの字絵本 恋の都大阪の巻』とは何か  
—青年画家の心をとらえた大阪のまちと女性—」  
2026年2月1日(日)13:30~15:30(開場13:00~)  
大阪市立住まい情報センター3階ホール  
定員:150名(無料・要申込)  
主催:堂本印象と大阪研究会、京都府立堂本印象美術館、京都新聞  
共催:大阪くらしの今昔館  
助成:公益財団法人 芳泉文化財団  
お問い合わせ:075-463-0007(京都府立堂本印象美術館)  
申し込み(美術館HP内)はこちらから →   
★申込開始日:2025年12月12日(金)10:00~



【図12】堂本印象《団廣の印象》  
明治44年、  
京都府立堂本印象美術館蔵



【図11】《定席にて》

# 温故知新

## —うめの花平棗— ひらなつめ

上田 祥悟 (大阪くらしの今昔館学芸員)



《うめの花平棗》(当館蔵)

扁平な形状をした木製黒漆塗りの平棗。

棗の底裏をのぞく蓋と身の外側には、朱漆を中心に置き、白、緑の色漆で縁取られた梅の花が散らされています。各花の中央にあるシベは、金の平蒔絵で繊細に描かれており、その外端は円形に広がるのではなく、やや五角形に近い表現になっています。一方、蓋と身の内側



や規方(蓋と身が重なる立ち上がりの部分)などには、大粒の銀平目粉(薄く平らに延ばした蒔絵粉)が隙間なく蒔かれており、一つの棗の内(蒔絵)と外(漆絵)でそれぞれ異なる表情を楽しむことができます。

作者の神戸雪汀は、明治八年(一八七五)に加賀藩士神戸盛久の長男として金沢市内で生まれました。名は寛治、号は雪汀、遙霞軒と称しました。若くして絵画に関心を寄せていましたが、後に加賀蒔絵の道を志したと言われています。二十三歳の時に大阪に出て蒔絵の研鑽を積む一方、洋画家をはじめとした多くの芸術家と親交を深めました。

当時の記録によると大正五年(一九一六)には東区瓦町、大正十五年(一九二六)には天王寺区上汐町に住んでいたようです。大阪では特に茶道敷内流の敷内節庵の知遇を得

たことで、吹田の仙洞御料庄屋・西尾家との関係を深めてゆき、蒔絵師として茶道具等の制作を続ける一方、西尾家の内部支配人も務めました。

本作の外箱の蓋裏には銀蒔絵で「丁巳初冬」とあり、雪汀の生没年(一八七五〜一九七二)から、大正六年(一九一七)の制作であることが分かっています。九十歳の頃まで制作を続けたとされる雪汀には、大阪を中心に多くの作品が残されていますが、本作は具体的な制作年が判明している比較的初期の基準作として注目されます。銀蒔絵による箱書きの近くには、「温故知新」の方印が人らしく、朱漆による「温故知新」の方印が押されています。雪汀は、自らが熱心に収集・研究していた手づくねの古陶器や洋画の表現を積極的に自身の作風に取り入れようとしていました。「温故知新」の印は、近代の蒔絵師として既存の枠組みを超えた作品制作をしようという雪汀の気概の表れであつたように感じられます。

